

水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画

目次

1. 実施体制	3
2. 事務の実施体制	4
3. 基本的な方針	6
3-1. 現状分析	6
3-2. 課題	14
3-3. 文化観光拠点施設としての機能強化に向けて取組を強化すべき事項及び基本的な方向性	14
3-4. 地域における文化観光の推進への貢献	16
3-5. 文化の振興を起点とした、観光の振興、地域の活性化の好循環の創出	16
4. 目標	18
5. 目標の達成状況の評価	25
6. 文化資源保存活用施設	26
6-1. 主要な文化資源についての解説・紹介の状況	26
6-2. 施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者との連携	27
6-3. 施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者との連携	28
7. 文化観光拠点施設機能強化事業	30
7-1. 事業の内容	30
7-2. 特別の措置に関する事項	42
7-3. 必要な資金の額及び調達方法	43
8. 計画期間	45

©水木プロ

水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画

1. 実施体制

文化資源保存 活用施設	名称	水木しげる記念館	所在地	鳥取県境港市本町5番地
申請者 文化資源保存活用 施設の設置者	名称	境港市	所在地	鳥取県境港市上道町 3000 番地
	代表者	境港市長 伊達 憲太郎		
	地方公共 団体内部 の役割	【主担当部署】 観光振興課（観光振興、水木しげる記念館所管） 【連携する部署】 水産商工課（水産・産業振興）、農政課（農業振興）		
共同申請者① 文化観光推進 事業者	名称	（一社）中海・宍道湖・ 大山圏域観光局	所在地	島根県松江市玉湯町湯町 1793 番地
	代表者	代表理事 花形 泰道		
	役割	施行規則第 1 条第 2 項第 1 号の文化観光推進事業者		
共同申請者② 文化観光推進 事業者	名称	（一社）山陰インバウン ド機構	所在地	鳥取県米子市末広町 311 番地 米子駅前ショッピングセンター 4 F
	代表者	代表理事 野浪 健		
	役割	施行規則第 1 条第 2 項第 1 号の文化観光推進事業者		
共同申請者③ 文化観光推進 事業者	名称	水木しげるロード振興会	所在地	鳥取県境港市竹内団地 255 番地 3
	代表者	会長 柏木 徹		
	役割	施行規則第 1 条第 2 項第 2 号の文化観光推進事業者		
共同申請者④ 文化観光推進 事業者	名称	（一社）境港観光協会	所在地	鳥取県境港市竹内団地 255 番地 3
	代表者	会長 結城 豊弘		
	役割	施行規則第 1 条第 2 項第 2 号の文化観光推進事業者		

共同申請者⑤ 文化観光推進 事業者	名称	皆生温泉旅館組合	所在地	鳥取県米子市皆生温泉3-1-1
	代表者	組合長 伊坂 明		
	役割	施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者		
共同申請者⑥ 文化観光推進 事業者	名称	一般社団法人 水木しげる記念館管理運営共同事業体	所在地	鳥取県境港市本町5
	代表者	代表理事 原口 智裕		
	役割	施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者		

2. 事務の実施体制

文化資源保存活用施設の設置者である境港市が、「第2期境港市総合戦略」に定める施策を展開するため、拠点計画の立案、全体の調整や進捗管理等を行い、文化観光推進事業者と連携して事業を行い、その成果等を共有する。

■文化資源保存活用施設の設置者

境港市
【観光振興課】 全体の調整、進捗管理、事業実施 担当する共同申請者：中海・宍道湖・大山圏域観光局、山陰インバウンド機構、水木しげるロード振興会、境港観光協会、皆生温泉旅館組合、一般社団法人 水木しげる記念館管理運営共同事業体
【水産商工課】 事業実施
【農 政 課】 事業実施

■文化観光推進事業者

中海・宍道湖・大山圏域観光局
【役割】 圏域内文化資源の情報発信・連携、評価検証
山陰インバウンド機構
【役割】 着地型観光商品のインバウンド対応・キャッシュレス対応
水木しげるロード振興会
【役割】 滞在時間延長のための商品造成、イベント強化、体験型観光

境港観光協会

【役割】 滞在時間延長のための商品造成

皆生温泉旅館組合

【役割】 滞在時間延長のための商品造成

一般社団法人 水木しげる記念館管理運営共同事業体

【役割】 水木しげる記念館の管理運営（令和6年4月以降）

3. 基本的な方針

3-1. 現状分析

3-1-1. 主要な文化資源

■境港市【文化観光拠点施設の所在地】

鳥取県の北西部、弓浜半島の北端に位置し、三方が海に開けた港町で、重要な社会基盤である重要港湾「境港（さかいこう）」、特定第三種漁港「境漁港」、国際空港「米子鬼太郎空港」という3つの「港」を有している。

境港市の面積は29.11km²しかなく、狭い市内の各所に水木作品等の文化資源が存在している。

水木しげるロード



その中でも「水木しげるロード」は、歴史的な街なみ景観を有した商店街に、水木しげる氏が描くマンガに登場する妖怪のブロンズ像やモニュメント等が設置され、境港市における文化資源の集積地となっている。そして、水木ワールドの集大成として「水木しげるロード」に造られたのが、「水木しげる記念館」である。

■水木しげる記念館【文化観光拠点施設】

「水木しげる記念館」は、水木しげる氏の人と作品世界、同氏が世界中から集めた妖怪に関するコレクションなど、貴重な品々を中心に、館独自に制作したオブジェ等を多数展示。

水木しげる氏の創出した、独創的かつ多様な「作品」の世界、哲学や精神の現れである「妖怪」の世界を展示や映像で紹介している。

100年の歴史を誇る料亭を改装して作られ、妖怪庭園はその面影を残している。妖怪は、漫画やアニメだけに止まらず、日本人の歴史や文化など広い分野との関連があるため、より日本を知りたい、楽しみたいと考える訪日外国人旅行者にとっては、魅力的なものとなっている。

水木しげる氏は、戦争体験と実話をもとに描かれた戦場の悲惨さを伝える作品（書籍、漫画）も多数発表している。太平洋戦争ではラバウル戦線に送り込まれ、最前線を守備していたときに敵襲を受け、ただ一人助かるも、マラリアを発症する。マラリアのために寝込んでいるところを空爆されて左腕を失った。九死に一生を得たものの、南方での苛酷な体験が、その後も一貫して水木しげる氏の価値観の根底になっている。

また、水木しげる氏は冒険旅行家でもあり、秘境と呼ばれる世界各国の地域を好んで訪れている。目的のひとつは世界中の妖怪文化に触れることであり、訪れた国々は60か国以上にもなる。その時に集



めた土俗信仰にも関わりの深い民芸品などを、「水木しげる記念館」で多数展示している。

◇水木しげる氏の作品群

妖怪	墓場鬼太郎、ゲゲゲの鬼太郎、悪魔くん、妖怪画談、決定版 日本妖怪大全
怪奇	墓の町、不死鳥を飼う男、猫又、畏悦録
戦記	水木しげるのラバウル戦記、総員玉砕せよ!!、昭和史、白い旗、ダンピール海峡
伝記	猫楠、20 世紀の狂気 ヒットラー、星をつかみそこねる男
古典	水木しげるの古代出雲、水木しげるの遠野物語、今昔物語

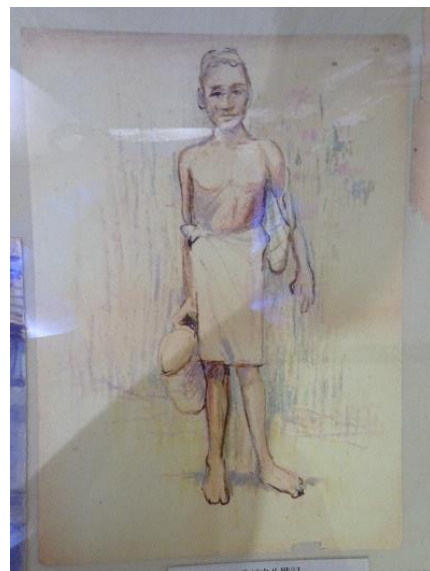
■主要な文化資源

◆原画（複製原画含む）203 点

水木しげる氏は1922（大正11）年3月8日生まれ。境港市の出身であり、太平洋戦争からの復員後に紙芝居作家となり、その後貸本漫画家に転向している。代表作には「ゲゲゲの鬼太郎」「日本妖怪大全」「河童の三平」「悪魔くん」などがある。水木しげる記念館には、天才少年画家と騒がれた往年の絵画や水木作品の大きな魅力の一つである繊細な点描で描かれた原画を直接見ることができる。

「ゲゲゲの鬼太郎」は、1954（昭和29）年に描かれた紙芝居「蛇人」で鬼太郎が誕生し、貸本漫画時代の「妖奇伝」「墓場鬼太郎」を経て、少年漫画誌へと50年以上も描き続けられた水木しげる氏の代表作のひとつである。「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめとする水木作品を通じて、民俗学の妖怪が定着したと言え、妖怪画に描かれた姿や解説文は妖怪の世界を知るうえで欠くことのできないものであり、妖怪画の背景に描かれた風景は、水木しげる氏が幼少期に見た情景を伝える貴重な資料である。

また「総員玉砕せよ!!」は、水木しげる氏自身の戦争体験に基づいて描かれたもので、「昭和史」も自身の目でとらえた戦争を詳細に描写する作品である。



□ラバウル戦記：南方で終戦を迎えた水木しげる氏は、復員船に乗るまでの数ヶ月間を現地で過ごし、南洋の風景や現地人をスケッチしている。復員してから記憶をたどって、軍隊での生活を描いたものがラバウル戦記である。[写真あり]

□境港に帰郷：終戦後、境港の実家に戻ったときに描く。「戦争というハンマーで頭を殴られたような気持ちで、脳みそが思うように働いてくれないのだ」と回想している。[写真あり]

□貸本「霧の中のジョニー」：後に「墓場の鬼太郎 吸血鬼エリート」としてリライトされる。



◆仮面・置物 143 点

水木しげる氏は自らを冒険家という。魔女の集会があると聞けばドイツの山中に、アイルランドへはケルトの妖精を探しに行き、精霊を求めて未開のアフリカや、人跡未踏のニューギニアの密林に足を運んできた。妖怪たちとの出会いを求めて冒険旅行を重ね、その成果の一つが世界各国で買い求めてきた精霊や妖怪のコレクションであり、仮面や置物である。



◆書籍 1,372 冊

60 年間の創作活動で生み出された作品は、妖怪、怪奇、戦記、伝記、古典など多岐にわたる。1950（昭和 30）年代、水木しげる氏は貸本漫画業界に場所を得ていたが、水木作品は人気が出ず、ときにはペンネームも勝手に変えられることもあった。しかし「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」、「河童の三平」の原型は貸本漫画家時代に作られたものである。水木しげる記念館では、時代を経ても古びない水木漫画の魅力を証明する貴重な作品の数々を見ることができる。

◆水木しげる氏の愛用品 92 点

水木しげる氏の人生は、激動の昭和史そのものであり、戦地に持ち込んだ文庫本や、夫婦で作上げた戦艦プラモデルなど、水木しげる記念館に展示されている品々は、水木昭和史を物語る大事な参考資料である。

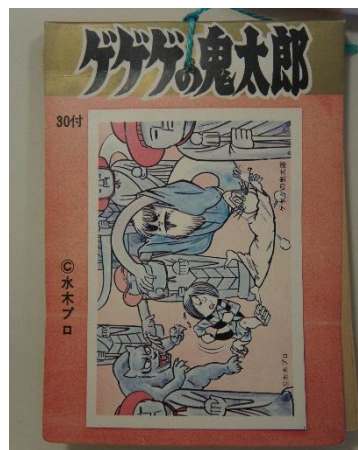
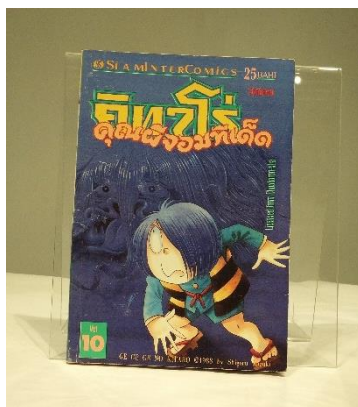
□ゲーテとの対話：南方の戦地まで持って行き、復員のとき持ち帰った、水木しげる氏と生死を共にした一冊。

□義手：母親から厳命され、結婚式のときだけはめていたが、以後つけていない。

□シャツ：漫画原稿用紙が動かないよう左肩で押さえ、顔を近づけて描いており、ほとぼしった墨汁の痕跡が残っている。

◆キャラクターグッズ 480 点

1960（昭和 40）年代の鬼太郎をはじめとするキャラクターグッズなど、今では買うことができない貴重な品物を多数保管している。1980（昭和 60）年代のキャラクターグッズを見ると、高度成長期の後の石油ショックを乗り越え、洗練されたものになっている。キャラクターグッズの歴史は、時代の変化やライフスタイルの変化を映し出す貴重な資料となっている。



◆着ぐるみ 16 体

水木作品に登場するキャラクター11種、全16体の着ぐるみを保有している。水木しげるロードでは、毎日着ぐるみの妖怪たちと触れ合うことができる。昭和の雰囲気を残す、妖怪お休み処「砂かけ屋」や水木しげる記念館周辺を歩いており、水木しげる氏が幼少期にのんのんばあ（近所に住んでい

た景山ふさのこと。民間宗教者として暮らし、幼い水木しげる氏に幾度となく不思議な話を語って聞かせていた。) から聞いた妖怪の世界を、リアルに体験することができる。

◆展示物 536 点

年譜とその背景を物語る写真などで構成される「ねぼけ人生の間」や調布市にある水木しげる氏の仕事部屋をそのまま再現している「水木しげるの仕事場」で、水木しげる氏の人となりを知ることができる。「のんのんばあとオレ」では、のんのんばあが誘う妖怪の世界を、精巧なフィギュアやジオラマで体感することができる。水木しげる氏は、水木しげる記念館に来館すると、即興で壁に落書きをすることがあった。水木しげる記念館の壁には、鬼太郎と目玉おやじ、悪魔くんとメフィスト [写真あり] など、直筆の壁画 7 点が描かれている。



■水木しげるロード

1992 (平成 4) 年に、中心市街地商店街の賑わいの回復と活性化を目的に、JR 境港駅から商店街を結ぶ目抜き通りをコミュニティロードとして整備している。

約 800m の通りには 177 体の妖怪ブロンズ像が並び、妖怪の種類や住みかなどによりエリア分けされている。

夜は妖怪ブロンズ像がライトアップされ、妖怪たちの影絵が歩道に投射される。



当初は、主に市民に歩いていただき、商店街の賑わいを取り戻すことが目的だったが、妖怪ブロンズ像は世界の中で同じものはない屋外の彫刻オブジェであり、公衆道路に配置する取り組みは、その知名度が年々高まり、観光地として成長を重ね、進化している。

水木しげるロードには、木造の和風建築から昭和モダンを感じさせる洋風建築など、水木しげる氏が境港で過ごした昭和初期の面影を残した店舗が軒を連ねている。

1946 (昭和 21) 年に戦後の復興を祈願して始まったみなと祭は、昭和から平成と途切れることなく続いている。漁船が境水道を彩る海上パレードは圧巻で、太鼓や神輿も船に乗り込み、日本有数の漁港ならではの壮大な眺めである。夜には花火大会や灯ろう流しが行われ、対岸の島根半島に反響する花火の音は迫力満点である。

また、水木しげるロードでは、地元の関係団体等を中心に様々なイベントが実施されており、来訪客を飽きさせない仕組みになっている。

◇主なイベント一覧

5 月	妖怪ナイトウォーク	10 月	妖怪川柳コンテスト
7 月	みなと祭	11 月	ゲゲゲ忌
	妖怪ジャズフェスティバル		ゲゲゲのゲタつき大会
8 月	ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会	12 月	ゲゲゲのクリスマス
10 月	妖怪ハロウィン		水木しげるロード大感謝祭
	妖怪検定	3 月	水木しげる生誕祭

他にも市内には、水木しげる氏にゆかりのあるスポット、観光資源が多数存在している。

◇その他の文化資源

水木しげる氏 生家	「水木しげる記念館」から徒歩 10 分の場所に、“水木しげるが幼少を 過ごした地” 碑がある。
正福寺	武良家（水木しげる氏の本名：武良茂）の菩提寺。本堂に掛けられた 六道絵地獄極楽図を見て異界への関心を持つようになる。
鬼太郎列車	J R 境線を走る列車で、鬼太郎ファミリーのキャラクター（6 種類） が描かれている。沿線上の 16 駅すべてに妖怪の愛称がつけられている。
米子鬼太郎 空港	鳥取県西部の空の玄関口であり、キャラクターのオブジェ等が観光客 をお出迎えする。
弓浜半島	境港市を擁する弓浜半島は、かつて出雲国風土記に夜見島と書かれた 島であり、国引き神話に三穂の埼を造る際の国土の引き綱として、水木 作品である「水木しげるの古代出雲」にも描かれている。
境台場公園	のんのんばあが幼少期の水木しげる氏に伝えた話は、島根半島を中心 に伝わってきた民間信仰・伝承であり、境台場公園からは島根半島を一 望することができる。水木作品である「花町ケンカ大将」では、少年時 代にケンカをしていた場所として描かれている。旧鳥取藩の「境台場跡」 として国の文化財の指定を受けており、市内屈指の「桜の名所」として も親しまれている。

3-1-2. 来訪客の動向

■文化観光拠点施設の状況

水木しげるロードを訪れる観光客は、2010（平成 22）年 3 月、NHK 連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」の放映を契機に水木しげるロードの認知度が向上し、入込客数は 392 万人まで増加した。その後、しばらくは 200 万人台に落ち着いていたが、2018（平成 30）年 7 月に実施した水木しげるロードリニューアルにより、293 万人まで回復した。近年は 280～290 万人で推移していたものの、2020（令和 2）年には新型コロナウイルス感染症の影響等により、67 万人まで激減している。なお、2020（令和 2）年 12 月には、1993（平成 5）年 7 月の開設以来、27 年 5 か月で累計の入込客数が 4,000 万人を突破している。

水木しげる記念館への入館者数は、水木しげるロードリニューアルを実施した 2018（平成 30）年においては、25 万人と大きく伸びたものの、2020（令和 2）年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、54 日間の休館を余儀なくされ、6 万人まで激減している。なお、2019（令和元）年 9 月には、2003（平成 15）年 3 月の開館以来、16 年 6 か月で累計の入館者数が 400 万人を突破している。

一方、水木しげる記念館の入館者は、水木しげるロードの入込客の 1 割にも満たない程度しか取り込めていないのが現状である。目の前にいる観光客を取り込めていない原因を追究し、需要拡大に向けた取り組みが必要不可欠である。

◇水木しげるロード入込客数

（単位：人）

	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
入込客数 A	2,063,949	2,023,013	2,926,161	2,860,365	665,808

※2020 年：2021 年 2 月末現在

◇水木しげる記念館入館者数

(単位：人)

	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
日本人	193,682	160,877	237,940	230,568	63,533
外国人	9,712	11,131	12,298	12,622	332
香港	3,094	3,572	4,701	5,030	14
台湾	3,700	3,930	2,871	2,611	18
韓国	888	1,465	2,078	944	14
中国	863	889	836	1,275	87
その他	1,167	1,275	1,812	2,762	199
計 B	203,394	172,008	250,238	243,190	63,865
B÷A	9.9%	8.5%	8.6%	8.5%	9.6%

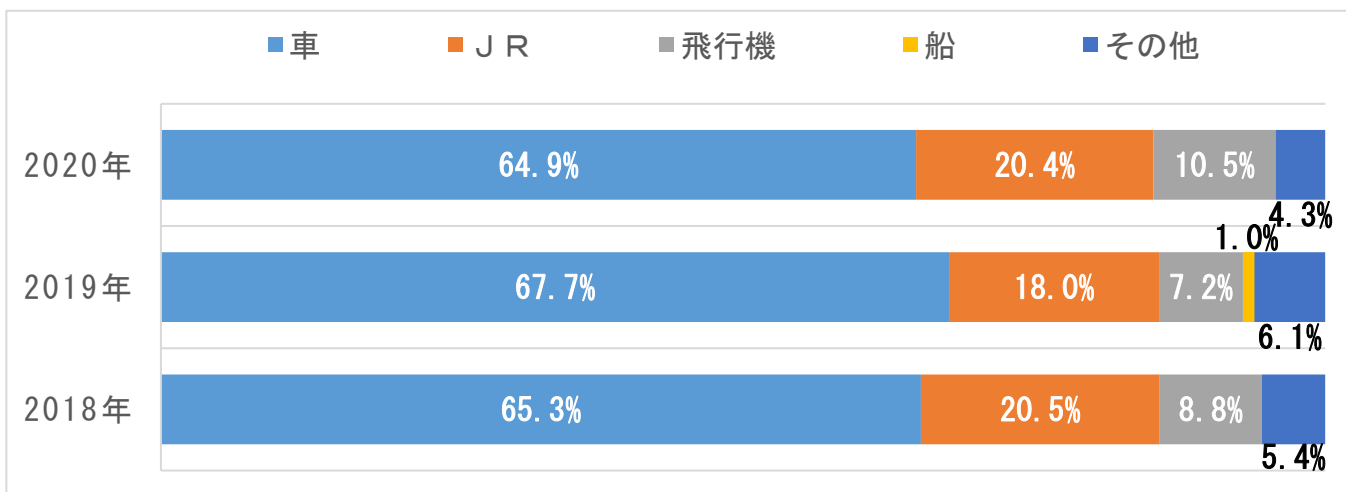
※2020 年：2021 年 2 月末現在

■水木しげる記念館入館者の動向（入館者アンケートによる）

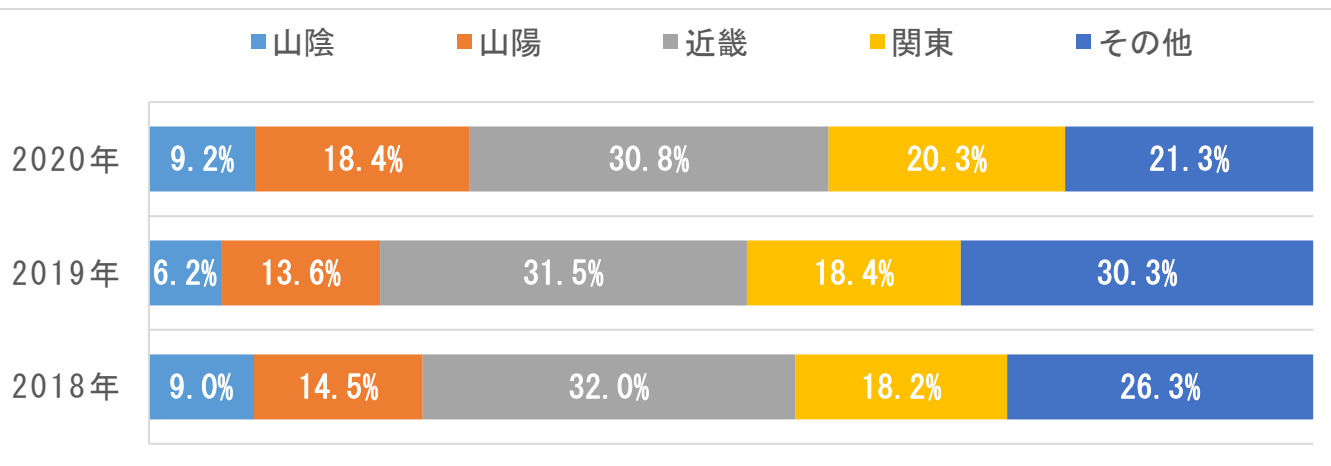
水木しげる記念館の入館者の交通手段は、車の割合が多く、出発地も山陰・山陽、近畿地方といった近隣地域からの入館者が多い。

境港市内の宿泊施設は、水木しげるロードを訪れる観光客による需要増を見込み、水木しげるロードの起点であるＪＲ境港駅前に大型ホテルがオープン（2016（平成 28）年 2 月）している。入館者のうち宿泊者が 8 割を超えているものの、境港市内の宿泊者は、客室供給数の不足もあり 2 割程度で、近隣の温泉地に頼らざるを得ない状況にある。圏域内の皆生温泉（鳥取県米子市）や玉造温泉（島根県松江市）だけで 5 割を超え、市内での観光消費額を増やすためには、夜間の賑わい創出と滞在時間の延長に向けた取り組みが必要である。

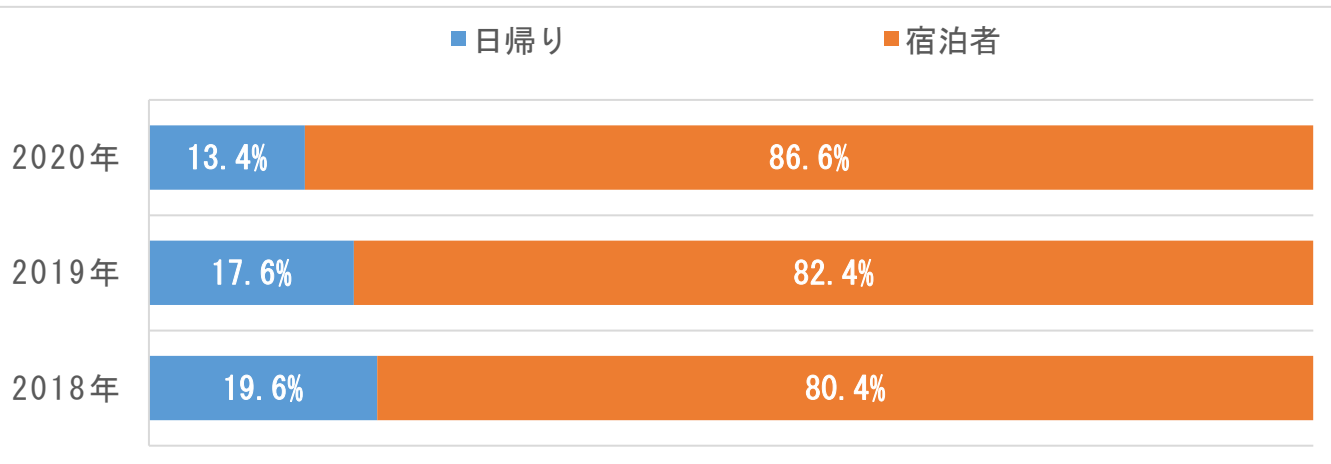
◇交通手段



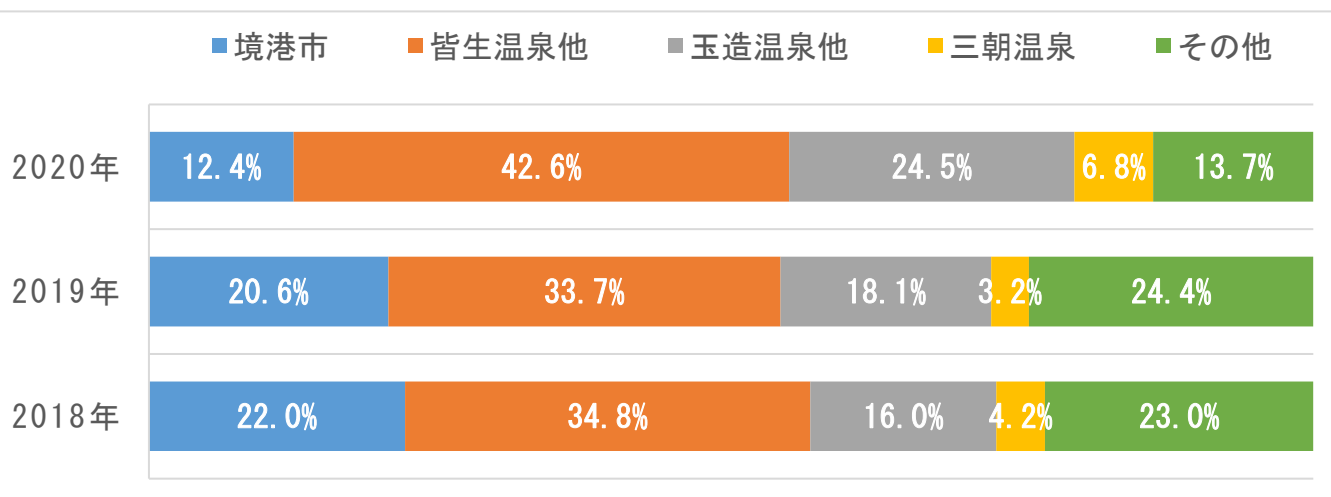
◇出発地別



◇日帰り・宿泊別



◇宿泊地別



■インバウンドの状況

境港市は、北東アジア諸国に近い地理的優位性を背景に、日本海側の拠点港である境港（さかいこう）と香港便などが就航する米子鬼太郎空港など、モノと人が行き交う北東アジアのゲートウェイとしての機能を有していることが、インバウンド誘客の強みとなっている。

水木しげる記念館を訪れる外国人旅行者は、米子鬼太郎空港から国際定期便が就航している香港が最も多く、次いで台湾、韓国、中国と北東アジア諸国からの訪日観光客がおおよそ8割を占めている。

海路では、境港に寄港するクルーズ客船が増加しており、2017（平成29）年には、寄港回数計61回、観光客数6万6477人と過去最高を記録した。2019（令和元）年10月には16万トン級の大型クルーズ

船が接岸できる貨客船ターミナル“境夢みなとターミナル”が完成（2020（令和2）年4月供用開始）し、国内外からの旅客を受け入れる新たな環境が整っている。クルーズ船の観光客は、寄港日時や人数を事前に把握できることから、観光関係者で情報共有し、おもてなしだけでなく、寄港地観光プログラムを造成することが重要である。

現在は、新型コロナウイルスの影響により、米子ー香港便、上海便、ソウル便はすべて運休し、クルーズ船も運航休止の状況が続いている。また、日韓口を結んでいた環日本海定期貨客船も航路が廃止となり、訪日外国人旅行客は激減している。このような状態の中、ポストコロナを見据えて訪日外国人旅行客の受入環境を整えておく必要がある。

3-1-3. 他の文化資源保存活用施設との比較

■文化観光拠点施設の比較

文化観光拠点施設の比較対象として、同じく漫画をテーマにしている横手市増田まんが美術館（秋田県横手市）と手塚治虫記念館（兵庫県宝塚市）及び妖怪をテーマにしている小泉八雲記念館（島根県松江市）や湯本豪一記念日本妖怪博物館（広島県三次市）を挙げ考察する。

◆専門的な人材

人材面でみると、学芸員などの専門スタッフの有無がある。水木しげる記念館に学芸員などが在籍していない一方、横手市増田まんが美術館や小泉八雲記念館などは、専門知識を持つスタッフが常駐。専門的な知見を基に、収蔵品の適切な管理をはじめ、その価値やテーマ性を活かした魅力的な企画展を実施している。

◆外国人への対応

外国人の来館者への対応にも大きな差がある。水木しげる記念館は施設内の案内表示や展示物の説明文の多言語表記がない。多言語音声ガイド（Web版あり）を導入しているもののその内容は専門性が低く、子供向けの解説や少数派言語への対応ができていないため、利用率は8.4%にとどまっている。それに対し、手塚治虫記念館は、多言語に対応した施設専用アプリを導入しており、利便性の高いサービスを提供している。

◆最新技術を取り入れた工夫

最新技術を融合させた館内コンテンツの導入も遅れを取る。横手市増田まんが美術館は、7万点のデジタルアーカイブを管理し、館内のネットワーク環境を活用してタッチパネルで自由に閲覧できる仕組みを整えている。湯本豪一記念日本妖怪博物館でも、大画面に流れるたくさんの作品や写真から、好きなものを選んで体感できるタッチパネルサイネージが導入されている。また、手塚治虫記念館では、Google ストリートビューを活用し、自宅で館内を体感できるようにしており、観光客の来訪意欲に訴えかける策を講じている。

◆施設の老朽化

水木しげる記念館は100年の歴史を誇る料亭を改装している。そのため、美術品を扱うための空調などの基本的設備が不足し、横手市増田まんが美術館と比べて大きな差がある。また、多数の収蔵品を保管するスペースも備わっておらず、年々増加する貴重な資料の保存・保管も課題となっている。

◆学習・体験型コンテンツの提供

小泉八雲記念館には、作品やゆかりの地を調べるための検索システムやワークショップなどを開催できる多目的スペースが完備されている。

3-2. 課題

課題1 水木しげるロードからの水木しげる記念館への取り込みが限定的

- ・水木しげる記念館は、常設展示が中心とした構成になっており、企画展示室の定期的な展示入れ替えができていない。
- ・先端技術を駆使した利便性の高いコンテンツの導入が他施設と比べ遅れている。
- ・多目的スペースはなく、体験型コンテンツも少ないため、リピーターが少ない。
- ・文化資源に関するデータを検索、閲覧できるシステムがなく、学びの場が提供できていない。
- ・専門的な知識を有した人材が配置できず、次世代への文化伝承や文化資源の有効活用ができてない。
- ・貴重な文化資源を展示するための設備がなく、記念館に必要な温湿度管理ができない。また収蔵品を適切に保存・保管する設備もない。
- ・「新しい生活様式」の実践に向けた取り組みは進めているものの、施設の混雑緩和、空調システムを含む換気対策といった大規模な受入環境は整備できていない。

課題2 「水木しげるロード」エリアの滞在延長や宿泊者増につながる取り組みが不足

- ・境港市には宿泊施設が少なく、水木しげる記念館や水木しげるロードとの連携も十分ではないため、滞在時間が短く、観光消費額が少ない。
- ・水木しげる記念館への来訪者の多くは、皆生温泉など周辺宿泊地に宿泊しているが、水木しげるロード沿いの飲食店等を巻き込んだ施策、特に夕方から夜を楽しむ取り組みが不足しているため、これらの宿泊地との連携ができていない。

課題3 地域への周遊を促進する機能が不足

- ・水木しげるロードは県内有数の観光スポットとなっているが、そこから周辺地域への周遊につなげられていない。
- ・ゲゲゲの鬼太郎などの人気作品をフックとして、妖怪と関連する地域の文化伝承等に繋げて広域周遊を誘導する取り組みができていない。
- ・水木作品に描かれた自然やノスタルジックな街の風景を満喫できる場所へと周遊促進する仕組みがない。
- ・水木しげる記念館に訪れる団体観光客等の情報や、クルーズ客船で境港市を訪れる観光客の情報について、関係者間の連携不足により、相互周遊体制の構築ができていない。
- ・市内循環バスを運行しているが、運行本数が1日9便（1コースあたり）と少なく、タクシーの運行台数も少ないため、空港や貨客船ターミナルと観光地を結ぶ交通手段が限られている。

課題4 インバウンドへの準備不足

- ・訪日外国人旅行者に対応した多言語での表示や音声ガイド、キャッシュレス決済など、快適に文化観光拠点施設を楽しむことができる環境整備が十分に整っていない。
- ・欧米豪インバウンド富裕層に向けた商品や体験型コンテンツが不足している。

3-3. 文化観光拠点施設としての機能強化に向けて取組を強化すべき事項及び基本的な方向性

上記の課題を克服するにあたり、4つの取組強化事項を設定し、文化観光拠点施設としての機能強化を図る。

これら取組強化事項は、地域の文化観光関係者と連携して取り組むことで、誘客や滞在促進、観光消費額の拡大を図り、魅力あふれる観光地域づくりの実現を目指すものである。

取組強化事項1 水木しげる記念館の魅力度向上（課題1）

文化観光拠点施設における鑑賞の快適性、文化資源の保管・保存、楽しめる企画づくり等により、一度では味わい切れない魅力を高め、その魅力を地域の情報と共に国内外にきめ細かく発信することにより、多くの方に繰り返し来訪していただくとともに、来訪客の満足度を高めていく。

【基本的な方向性】

（1）拠点施設の機能強化・魅力向上

- ・拠点機能強化（企画展示スペースの確保、新コンテンツの導入、案内員のスキルアップ、収蔵品の保存・保管環境の向上、データベース構築）
- ・誘客多角化等のための魅力的なコンテンツの造成（人材育成、体験型コンテンツ等）

（2）文化資源の磨き上げ

- ・文化資源の伝承（水木作品の世界観や妖怪・戦争・民俗信仰の伝承、本物志向の展示）
- ・収蔵品の活用促進（定期的な展示入れ替え、ストーリー解説）

（3）拠点施設の収益力強化

- ・拠点施設における多言語音声ガイドやキャッシュレス決済の導入
- ・拠点施設内の周遊性向上（展示物配置、動線計画）

取組強化事項2 水木しげるロードの滞在型観光推進（課題2）

水木しげるロードの入込客だけで判断するのではなく、観光消費額の多い滞在型観光を推進する必要がある。そのためには市内の宿泊施設や飲食・販売事業者等と連携し、滞在型イベント企画の実施、地域を深掘りする体験事業の実施、周遊の快適性を高める取り組みなど、地元を巻き込んで滞在時間延長・観光消費額を増やす施策を進める。

【基本的な方向性】

（1）滞在型観光の推進

- ・拠点施設を中心として、地域の文化・産業・自然・グルメ・伝統行事などの魅力の再整理、それらを満喫するツアーの造成、マップ等の作成
- ・訪日予定者等への動機づけとして、夜間の賑わい創出や滞在時間延長の取り組みを推進
- ・飲食や宿泊の場における文化伝承の鑑賞、地域の風習などを踏まえたストーリーに文化資源をパッケージにしたコンテンツの造成

（2）周辺地域との連携等強化

- ・周辺の温泉地（米子市の皆生温泉等）と連携した、夕方から夜にかけての誘客促進
- ・受入体制の整備を促進し、おもてなし充実への取り組み

取組強化事項3 水木作品に描かれた聖地等への周遊促進（課題3）

水木作品に描かれた風景や街なみ、水木しげる氏の体験等をフックにした、他の地域の文化伝承を繋ぐ周遊プランの造成、快適に巡ることができる二次交通として、デマンド型交通やフリー乗車券の検討、国内外へのきめ細やかな情報提供などを積極的に行う。

これらの取組は、拠点施設でのアンケート調査や観光動態調査で入手可能な来訪者情報・行動履歴などを総合的に分析し、事業効果の検証を行うことで、よりよい取り組みとなるよう改善を図る。

【基本的な方向性】

（1）周遊促進のためのネットワーク構築

- ・案内所や関連施設、宿泊施設などの観光関係者同士の相互紹介や情報共有を行うネットワークづくり
- ・郷土料理や地元産品と観光の連携による地域活性化

(2) 周遊促進のための取組強化

- ・市内にある既存コンテンツやスポットにおける、語り部等を活用した周遊プラン造成
- ・水木作品に描かれた風景、文化伝承を発掘し、他の地域の文化資源を活用したイベントを造成

(3) 観光二次交通の充実

- ・快適な交通環境の実現に向けた、直行バスの運行支援や周遊パスの開発
- ・観光地間の距離や時間、移動手段等の情報提供

取組強化事項4 インバウンド旅行者に対応した環境整備（課題4）

文化観光拠点施設におけるインバウンド旅行者に対応した環境整備を実施し、「快適な観光地」であることを情報発信する。特に観光客が集中する水木しげるロードについては、多言語案内表示が充実している地域であることを積極的にPRする。

【基本的な方向性】

(1) 水木しげる記念館における環境整備

- ・文化観光拠点施設での受入環境整備（多言語音声ガイド、キャッシュレス決済の導入）

3-4. 地域における文化観光の推進への貢献

境港市は、日本有数の漁獲量を誇る「境漁港」を有し、水揚げ日本一のカニやマグロをはじめ、豊富な水産資源に支えられていたが、水産資源の激減により、地域経済は厳しい局面を迎えていた。そこで境港市が持つ鬼太郎、水木作品というオンリーワンの観光資源を活かし、「さかなと鬼太郎のまち境港」を標榜する年間200万人以上が訪れる中国地方有数の観光地になった。さらに、これからも水木しげる記念館をはじめとする観光を、地域経済を牽引する主要産業に育成する。特に拠点計画による文化観光の推進並びに地域での観光資源の磨き上げ等を図ることで、魅力と活気にあふれ、心豊かに暮らせる街を目指す。

コロナ禍においては、観光地も深刻な影響を受けているが、感染症対策を事業者と観光客が協働して取り組む一方で、ポストコロナに向けた対策も講じる必要がある。観光客の回復時期は不透明ではあるが、DMOには、観光事業者との連携による事業実施や、情報発信の窓口を担っていただくことが望ましい。ただし観光資源の魅力を国内外に発信する時期を慎重に見極める必要があるが、関係者間での情報共有に取り組み、計画期間内での観光消費額の増加に貢献する。

3-5. 文化の振興を起点とした、観光の振興、地域の活性化の好循環の創出

境港市の人口は、1985（昭和60）年の38,394人を最大として、2007（平成19）年以降は年々減少している。今後も減少傾向は続き、少子高齢化の進展に伴い、後継者不足や観光や飲食サービス等の利用者も必然的に減少するという問題が顕在化している。したがって観光資源を最大限に活用し、観光関連産業を継続・発展させ、雇用の創出を図ることで、将来に渡り定住人口の増加に寄与する。具体的には、地域の自然や文化の活用をはじめ、食の提供や周辺地域の温泉地との連携により、体験型、滞在型観光を推進し、魅力ある地域づくりに貢献する。

これらの体験型、滞在型観光の取り組みにて、地域住民が、水木作品を通じて地域の魅力を再認識することができ、文化観光にかかわる人々の間に交流が生まれ、自主的、継続的な取り組みが展開され、持続可能な観光地づくりにも寄与する。

水木作品の世界や生き立ちについて、学習や体験コンテンツを通じて、その背景やストーリーをインバウンド旅行者に提供するためには、多言語での受け入れ環境を整備する必要がある。この取り組みは、来訪者の満足度を高めるだけでなく、地域住民のふるさとへの理解と、地域を支えていく次世代の育成にも貢献する。

ー観光による交流人口増ー

- ・観光資源の磨き上げで、観光需要の向上を図り、魅力ある地域づくりに寄与する。
- ・文化観光拠点としての存在感を発信することで、交流人口の拡大を図る。

ー持続可能な観光地づくりー

- ・文化観光資源を活用した取り組みを継続的に展開することで、観光産業への参入を促進し、空き店舗の解消や利活用につなげる。

水 木 作 品

水木しげる記念館

ーふるさと教育ー

- ・自然、文化、歴史といった文化資源を生かし、ふるさとに誇りを持つ心を養う。
- ・学習や体験コンテンツを通じて、地域の文化伝承を後世に受け継ぐ。

ー観光消費額の増加ー

- ・滞在時間延長の取り組みにより、地域に還元する。
- ・観光資源をつなげることで、地域の食や酒等の付加価値の向上を図る。

4. 目標

目標①：水木しげる記念館への日本人入館者数（課題１・３関連、取組強化事項１・３関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） 水木しげる記念館への日本人入館者数を目標値に定める。 2020 年までの実績は窓口での受付数により把握している。2020 年は、新型コロナウイルス感染症対策により 54 日間の休館等もあり、対前年度比 27.6% と激減している。 2023 年は再整備のため休館を予定している。再開後、2024 年には、第２期境港市総合戦略の成果目標（2024 年）と同値の 200 千人（外国人入館者数含む）まで回復させ、最終年度 2025 年には、直近５年間で最大値の 238 千人を目標とする。							
年度	実績		目標				
	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
目標値 日本人入館者数	千人 231	千人 64	千人 95	千人 140	千人 (休館中) 0	千人 190	千人 238
事業１－①： 拠点施設コンテンツ強化事業					データベースの全体構成を調査研究（水木作品等の関連情報を収集） 文化資源人材育成（研修による専門的スキルの学習）		
事業１－③： もののけ３館連携事業		周遊パスポート作品展	周遊パスポート（デザイン・特典をリニューアル）	周遊パスポート（デザイン・特典をリニューアル） 作品展の開催（松江市） リーフレット作製	※水木しげる記念館休館のため、事業休止	周遊パスポート（デザイン・特典をリニューアル） 作品展の開催（三次市）	周遊パスポート（デザイン・特典をリニューアル） 食体験（新たな連携事業の実施） ――→ 事業継続

事業1ー⑥： 水木しげる記念館展示物改修事業	あり方 検討委員会開催	あり方 検討委員会開催	水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画策定委員会開催	水木しげる記念館再整備事業基本協定書の締結	水木しげる氏の顕彰、地域の文化伝承、直筆壁画の保存、裸眼3Dディスプレイ等で水木しげる氏の仕事を紹介するなど、展示物の改修	-----	→ 常設展示
事業2ー④： 水木しげる記念館解説強化事業	あり方 検討委員会開催	あり方 検討委員会開催	水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画策定委員会開催	水木しげる記念館再整備事業基本協定書の締結	実施		
事業3ー①： ミュージアムネットワーク事業			ガイドブック作成	ガイドブック更新（加盟施設の追加）	ガイドブック更新（加盟施設の追加）	ガイドブック更新（加盟施設の追加）	ガイドブック更新（加盟施設の追加）
事業6ー①： 水木しげる記念館再整備事業	あり方 検討委員会開催	あり方 検討委員会開催	水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画策定委員会開催	水木しげる記念館再整備事業基本協定書の締結	旧記念館の解体、新記念館の建設	-----	→ 運営

目標②：水木しげる記念館への外国人入館者数（課題1・4関連、取組強化事項1・4関連）

（目標値の設定の考え方及び把握方法）

水木しげる記念館への外国人入館者数を目標値に定める。

2020年までの実績は、窓口での聴取により国別で入館者数を把握している。2020年は、新型コロナウイルス感染症による入国制限の影響で、米子鬼太郎空港発着の国際定期便の運休や国際定期貨客船の廃止等となり、対前年度比2.6%と激減している。

2021年以降も急激な増加は見込めないが、最終年度である2025年には、第2期境港市総合戦略の成果目標（2024年）と同値の17千人まで引き上げ、10年後には2倍にする。

年度	実績		目標				
	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
目標値 外国人入館者数	千人 13	千人 0.3	千人 5	千人 10	千人 (休館中) 0	千人 10	千人 17
事業2－②： 水木しげる記念館多言語表記事業					展示物のキャプションを多言語表記 (スマートフォンで再生)	----->	運用
事業2－③： 多言語オーディオガイド更新事業					多言語オーディオガイドの導入	----->	運用
事業3－②： 案内標識多言語表記事業						記念館前の案内標識を整備	----> 運用
事業3－⑤： キャッシュレス決済導入事業						水木しげるロード全体でキャッシュレス導入に取り組むための理解促進セミナーや導入講座を開催	----> 運用

目標③：水木しげるロードの入込客数（課題２関連、取組強化事項２関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） 水木しげるロードに設置されたカウンターにより把握する。 2020 年までの実績は、水木しげるロードのカウンターで入込客数を把握している。2019 年は水木しげるロードリニューアルの効果で高水準であったが、2020 年は、新型コロナウイルス感染症による影響で、対前年度比 23.3%と激減している。 2021 年以降も急激な増加は見込めないが、最終年度である 2025 年には、第 2 期境港市総合戦略の成果目標（2024 年）と同値の 2,000 千人まで引き上げる。							
年度	実績		目標				
	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
目標値 ロード入込客数	千人 2,860	千人 666	千人 1,000	千人 1,300	千人 1,300	千人 1,600	千人 2,000
事業 1－⑤： 路地裏を活かした昔体験事業						路地裏を演出する装置の制作	イベント開催（イベントを 8 回開催）
事業 4－②： 「のんのんばあとオレ」体験事業						AR コンテンツ設計	AR コンテンツ造成及び運用
事業 5－①： 妖怪文化情報発信事業		はまる 一歩バスラッピング	SNS イベント	SNS イベント、 宿泊施設での情報発信	SNS イベント -----	SNS イベント -----	ホームページによる情報発信、 SNS イベント、 -----▶ 事業継続

事業５－③： 各種記念式典等開催事業	生誕祭	生誕祭	----- 水木しげる生誕 100 周年事業（３月）	水木しげるロード 30 周年事業（７月）、 水木しげる記念館 閉館セレモニー（３ 月）	世界妖怪会議（８月 頃）	-----	---▶ 事業継続
-----------------------	-----	-----	----------------------------------	---	-----------------	-------	-----------

目標④：水木しげる記念館入館者の満足度の向上（課題１・３関連、取組強化事項１・３関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） 水木しげる記念館入館者アンケートにより把握する。 2020 年までの実績は、水木しげる記念館の入館者に実施したアンケートの自由記載欄に、“楽しかった”“良かった”等と記載された割合を指標としている。2023 年は、水木しげる記念館は再整備のため休館しているためデータなし。アンケート内容を見直し、2024 年以降、５段階評価にて回答していただく。							
年度	実績		目標				
	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
目標値	%	%	%	%	%	%	%
入館者の満足度	96	95	96	96	（休館中） —	4. 5	4. 5
事業２－①： 妖怪文化伝承事業			妖怪文化伝承講座 開設（３回実施） リーフレット作成	指導者育成コース 開設（語り部育成教 室を５回実施）	-----	-----	---▶ 運用
事業３－③： 予約システム構築事業					システム構築	-----	---▶ 運用

事業3-④： 水木しげる記念館等 Wi-Fi 整備事業				Wi-Fi 整備	-----	-----	→ 運用
事業4-①： 水木しげる記念館限定グッズ開発事業				市場調査（商品の動向調査）	商品開発等（伯州綿等を活用した限定グッズの開発）	販売開始 -----	----▶ 販売継続
事業5-②： デジタルサイネージ整備事業						デジタルサイネージ設置	運用

目標⑤：水木しげるロードの滞在時間（課題2関連、取組強化事項2関連）

（目標値の設定の考え方及び把握方法）

水木しげる記念館入館者に実施するアンケートに、滞在時間の項目を追加し、把握する。

水木しげるロードの滞在時間に関するデータはないため、2019年の実績は、水木しげるロードの観光客の滞在時間の目安となる2時間とする。2020年実績及び2021年目標値は、新型コロナウイルス感染症対策のため、観覧時間を45分までとしているため、1.75時間とする。

2023年は、水木しげる記念館が休館予定であり、一旦下降するが、最終年度である2025年には、3時間まで引き上げる。

年度	実績		目標				
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
目標値 ロード滞在時間	時間 2.0	時間 1.75	時間 1.75	時間 2.0	時間 1.5	時間 2.5	時間 3.0
事業1-④： 水木しげる聖地巡礼事業				水木しげる記念館への学校行事誘致による需要調査	水木しげる氏の戦争体験動画の作成	ツアー企画、FAMトリップ	ツアー販売

目標⑥：水木しげる記念館入館者に占める宿泊者（課題２・３関連、取組強化事項２・３関連）							
（目標値の設定の考え方及び把握方法） 水木しげる記念館入館者アンケートにより把握する。 2020 年までの実績は、水木しげる記念館の入館者に実施したアンケートの宿泊先の項目で、“日帰り” 以外を選択された割合を指標としている。 最終年度である 2025 年には、87.4%まで引き上げる。							
年度	実績		目標				
	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
目標値	%	%	%	%	%	%	%
入館者に占める宿泊者	82.4	86.6	86.6	86.8	87.0	87.2	87.4
事業１－②： ナイトタイムエコノミ ー事業				ナイトタイムイベ ント（通年）造成・ ガイドブック作成 特典プラン	ナイトタイムイベ ント（通年をベース に、季節のプランを 加える）造成 「妖怪影絵」作成 -----	ナイトタイムツア ー造成 影絵投影	ナイトタイムツア ー造成 「妖怪影絵」作成 事業継続

5. 目標の達成状況の評価

拠点計画の推進に当たっては、取組の進め方や必要な施策について、PDCAサイクルにより検証を毎年行いながら進める。

観光庁のデータや鳥取県観光入込動態調査結果、水木しげる記念館の入館者数及び水木しげる記念館入館者アンケートなどを活用し、目標の達成状況を年度毎に確認。これらのデータに「Discover Another Japan Pass」の利用者データを加えた分析を行うことで、より効果的な事業実施に向けて検証し、次年度以降の事業の内容や実施方法について改善を図る。

3年後に行う中間評価は、2021年から2023年の3年間に実施した事業について、効果を検証し、計画の終了時に拠点計画に定めた目標値を達成できるよう、共同申請者との情報共有を行う。

6. 文化資源保存活用施設

6-1. 主要な文化資源についての解説・紹介の状況

6-1-1. 現状の取組

- ・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）

◆水木ワールドの魅力に触れる展示等

水木しげる氏の人生や作品の歩みを年表形式で紹介している。また、妖怪研究家としての素地をつくったとされる少年時代の体験を象徴する「妖怪」や、世界各国を旅した記録や収集した民芸品なども展示し、水木作品が生まれた由来を知ることができる。

2階の「水木しげる漫画ワールド」は、水木しげる氏の漫画作品を一堂に紹介する展示で、解説情報も満載である。さらに書籍の閲覧スペースを設けており、貴重な貸本漫画などを見ることができる。「企画展示室」では、現在“TV アニメ「ゲゲゲの鬼太郎（第6期）」「悪魔くん」展”を開催しており、アニメの物語や解説を分かりやすくパネルで展示。第6期アニメは境港市をはじめ県内が舞台となった放送回があったため、実際にアニメに登場した県内の各所を“聖地”として画像付きで紹介し、周遊促進を図っている。これら記念館の展示内容は公式ガイドブックで分かりやすく解説し、魅力を余すところなく伝えている。

展示品以外にも多数収蔵している原画やキャラクターグッズは、今では入手が困難なものが多く、画像と合わせて台帳管理し、定期的な展示入れ替えを行い、水木ワールドの魅力に触れる機会を提供している。

- ・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）

◆音声ガイドアプリ

入館者が館内の情報をスマホで聞ける音声ガイドアプリを導入している。

- ・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）

◆主要な訪日外国人観光客の言語に対応した館内ガイド

水木しげる記念館に入館される外国人の中で、国別に多い地域へ対応した多言語コンテンツとして、展示物を紹介する「音声ガイド（英・韓・繁・簡・露）」については、専用機器の貸出又は入館者のスマホ等で直接Web接続する仕組みとしている。なお、「公式ホームページ（英・韓・繁・簡）」を整備するとともに、館内案内を補完する「多言語パンフレット（英・韓・繁・簡・露）」を作成している。

◆海外版ライブラリー

水木しげる記念館内「水木しげる漫画ワールド」では、水木しげる氏の代表作である漫画「ゲゲゲの鬼太郎」などの海外版（英、中、韓、仏、泰）を自由に閲覧することができる。

6-1-2. 本計画における取組

- ・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号）

◆妖怪文化を後世につなぐ語り部

水木作品や地元の文化遺産の魅力を、ナイトタイムのツアーやイベントの機会に口承で語り伝える。

- ・ 情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号）

◆水木しげる記念館の展示物キャプション

水木しげる記念館展示物のキャプションについては、展示物にQRコードパネルを貼り付けておき、入館者がスマートフォンでQRコードを読み取ることで、解説・紹介や関連情報が表示できるものを導入する。

◆VRで妖怪の世界観を体感

タブレットで視聴可能な映像を制作し、妖怪の世界観を疑似体験できるコンテンツを造成する。境港市の昔の街なみを背景に、妖怪が現れたり、水木しげるロードを一反もめんに乗り巡ったりする体験ができる。

◆3Dで水木しげる氏や妖怪に会える

水木しげる氏の仕事部屋を再現したスペースに、水木しげる氏が現れる。戦争体験や漫画家として大成するまでの苦悩や体験話などを、同氏の映像と声で紹介する。

また水木しげる記念館中庭等には、水木作品に登場する妖怪たちが出現するコンテンツを造成する。水のある場所や家に潜んでいる場所などに、妖怪の映像が解説付きで紹介される。

◆Wi-Fi 整備

水木しげる記念館館内および前庭で、情報通信技術を活用したコンテンツの利用環境を向上させるため、Wi-Fi 整備を行う。

- ・ 外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号）

◆多言語による情報提供等

国際定期便が就航している香港を始めとするアジア圏からの来訪者が8割を占めており、多言語化にあたっては英語・韓国語・繁体字・簡体字に対応したものとする。原則として、観光庁「魅力的な多言語解説作成指針」に従い、利用者の興味・関心を引き、かつ、分かりやすい解説を行っていく。

多言語オーディオガイドは、入館者にスマートフォンアプリをダウンロードしてもらい、水木しげる記念館館内の展示物の解説・情報を音声で取得することができるものにする。

また、デジタルサイネージを整備し、文化観光拠点施設等のイベント情報、公共交通の乗換案内などを多言語で表示する。水木しげる記念館の空き情報や団体旅行の来訪状況等を提供することで、利便性の増進を図ることができる。

6-2. 施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者との連携

6-2-1. 現状の取組

- ・ 文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築

なし

- ・ 文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析

なし

- ・ 文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立

◆（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局

毎年開催されている「中海・宍道湖・大山圏域市長会 総合戦略推進委員会」において、データの

分析、事業実施後の評価などについて審議している。

6-2-2. 本計画における取組

- ・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築

山陰インバウンド機構及び中海・宍道湖・大山圏域観光局と連携して、水木しげるロード振興会や境港観光協会、皆生温泉旅館組合に飲食店等の関係事業者も加え、本計画事業の円滑な実施のために、月1回程度の連絡協議会を組織し、連携体制を構築する。

- ・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析

水木しげる記念館及び境港市への来訪者の動向等について、山陰インバウンド機構及び中海・宍道湖・大山圏域観光局と連携して、データの収集・整理・分析を行い、本計画事業の実施に活用していく。

- ・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立

「中海・宍道湖・大山圏域市長会 総合戦略推進委員会」で行った検証・評価を、「境港市総合戦略推進会議」にフィードバックし、年に1度事業検証及び評価を実施することで、PDCAサイクルを循環させ、本計画事業に対するフィードバックを随時行っていくものとする。

6-3. 施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者との連携

6-3-1. 現状の取組

- ・文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めた賑わいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施

水木しげるロード振興会と連携して、水木しげるロードでのイベントや、節目となる年の記念式典を盛りあげる企画や、紙芝居などの昔遊びを実施している。

6-3-2. 本計画における取組

- ・文化観光を推進するための交通アクセスの充実や商店街を含めた賑わいづくりなど、文化観光の推進に関する事業の企画・実施

- 水木作品と連携したナイトタイムツアー

境港観光協会や皆生温泉旅館組合と連携して、圏域内の宿泊施設からの来訪を促進するため、特別プランや割引特典等をパッケージにしたツアー造成を行う。

- ナイトタイムイベント

境港観光協会と連携して、ナイトタイムイベントで水木しげるロード沿線の飲食店や、早朝の境漁港見学ツアーを設定する等、滞在時間延長のための商品を造成する。

- インバウンド旅行者向けのアニメ聖地巡礼ツアー

山陰インバウンド機構や境港観光協会と連携して、水木作品に描かれた場所等を訪れるツアーを造成する。ツアー造成にあたっては、水木しげるロード沿線の飲食店とも連携し、企画・商品化を進めていく。

- 体験型観光による誘客

水木しげるロード振興会や境港観光協会と連携して、商店街に受け継がれる様々な祭りを盛りあげ、紙芝居などの昔遊びを体験する等のプランを造成する。体験事業を実施することにより、水木しげるロ

ードの滞在時間延長に寄与し、飲食店等の消費拡大を図る。

■妖怪文化を後世につなぐ語り部の育成

境港観光協会と連携して、妖怪の語り部などを育成し、水木しげるロードを拠点にして訪日外国人旅行者等に対するガイドツアーを行う。

■文化観光拠点施設を中心とした交通手段の整備

交通事業者等と連携して、水木しげる記念館入館券にバス等の乗車券が付いたフリーパスプランを企画・実施する。

■文化資源を活用した情報発信

水木しげるロード振興会や境港観光協会と連携して、SNSイベントを開催し、国内外に発信する。

■周年記念式典等の開催

水木しげるロード振興会や境港観光協会と連携して、節目となる年に、関係者と連携して記念式典を開催する。

7. 文化観光拠点施設機能強化事業

7-1. 事業の内容

7-1-1. 文化資源の魅力の増進に関する事業

(事業番号 1-①)

事業名	拠点施設コンテンツ強化事業
事業内容	■文化資源人材育成 貴重な原画の取扱いや効果的な展示方法等のスキルを学び（文化資源人材育成）、水木しげる記念館の展示物の入れ替えや企画展の開催にも対応する。
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和5）年度 ～ 2025（令和7）年度
継続見込	人材育成した後、継続して研修等の機会が必要な場合は、単独事業として実施する。その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・文化資源人材育成 スタッフ 15 名が受講
必要資金 調達方法	2.8 百万円（内訳：0.9 百万円（市費）1.9 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

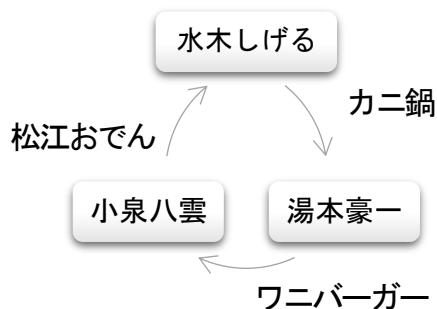
(事業番号 1-②)

事業名	ナイトタイムエコノミー事業
事業内容	■水木作品と連携したナイトタイムツアー造成 ①ツアー造成：皆生温泉の宿泊施設等が実施主体となるツアーを共同で企画し、夜の水木しげる記念館館内や正福寺のガイドツアー、妖怪肝試しツアーなどを行う。 ②料理と語り部：語り部〔事業番号 2-①〕と食事を一緒に楽しむ体験コンテンツを展開する。水木しげるロードの飲食店を会場にした文化伝承のおはなし会を設定し、特別料理を提供するなど、特別プランを造成する。 ③特典プラン：圏域内の宿泊施設に、水木しげる記念館の入館料割引券を配架、または特典（水木しげる記念館限定グッズ）付の宿泊プランを設定する。 ■ナイトタイムイベント造成 ①通年：夜間において、水木しげる記念館の「動く妖怪影絵」や水木しげるロードの夜間演出照明をガイド付きで巡るツアーを行い、参加者にはロード沿線の食（酒蔵、海鮮）なども楽しんでもらう。早朝には、鳥取県営境港水産物地方卸売市場で開催されている、セリ風景や水揚げの見学境漁港見学ツアー（（社）境港水産振興協会）に参加するなど、文化資源と宿泊とをパッケージにして、滞在時間延長のための商品を造成する。 ②春：①通年に加え、水木しげる氏が幼少期に見ていた美保関を望む境台場公園の桜の名所等を巡り、境港市の地酒を堪能する商品を造成する。 ③夏：①通年に加え、みなと祭の花火と一緒に、音楽（大漁太鼓、妖怪ジャズフェス）を堪能する商品を造成する。 ※デジタルパスアプリで販売（キャッシュレス決済で購入可能）

	■夜間演出照明の磨き上げ 「妖怪影絵」を増設し、夜間の滞在時間延長に資する。水木しげる記念館の前庭及び水木しげるロードで影絵を投影し、漫画「ゲゲゲの鬼太郎」のワンシーンを再現する。[写真あり] ■夜間の二次交通 ①直行バス等：宿泊施設から境港市まで、直行バス等を運行する事業者に対して補助を行う。 [単市] ②市内周遊：夜間、市内循環バス（はまる一ふバス）を利用し、観光スポット間を結ぶ臨時バスを無料で運行する。	
実施主体	境港市、境港観光協会、皆生温泉旅館組合	
実施時期	2022（令和4）年度 ～ 2025（令和7）年度	
継続見込	2026（令和8）年度以降は、造成されたツアーを継承する旅行代理店等がツアー料金で継続。	
アウトプット 目標	・ナイトタイムツアーの造成 1種類 ・ナイトタイムイベントの造成 3種類 ・夜間演出照明 2種類	
必要資金 調達方法	23.5 百万円（内訳：7.9 百万円（市費） 15.6 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））） [単市] 1.0 百万円	

（事業番号 1－③）

事業名	もののけ3館連携事業
事業内容	■小泉八雲記念館、湯本豪一記念日本妖怪博物館との連携による作品展示等 小泉八雲記念館（島根県松江市）、湯本豪一記念日本妖怪博物館（広島県三次市）、水木しげる記念館において、妖怪や怪異を共通テーマにした3館連携事業を実施し、境港市への周遊を促進する。 ①周遊パス：3館おすすめの作品がデザインされたポストカードが付いた3館共通パスポートを造成する。さらに3館すべてを回ると特典進呈。デザインは毎年リニューアルし、購入者により多くの作品を知っていただく機会を創出する。 ②作品展：3館の作品による巡回展を開催する。 ③食体験：それぞれの郷土料理や名物料理を、別の記念館を会場にして提供すること等により、連携を深めていく。[右図] ④リーフレット：3館周辺のおすすめスポット等を紹介
実施主体	境港市
実施時期	2021（令和3）年度 ～ 2025（令和7）年度
継続見込	効果検証を行い、継続する場合は3館連携協議会の予算から執行する。



アウトプット 目標	・周遊パスの造成 4種類 ・作品展示 2回 ・リーフレット作製 1種類
必要資金 調達方法	1.8百万円（内訳：0.7百万円（市費） 1.1百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

（事業番号 1－④）

事業名	水木しげる聖地巡礼事業
事業内容	■インバウンド旅行者向けのアニメ聖地巡礼ツアー クルーズ船旅行者向けの寄港地観光プログラムとして、TVアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の舞台となった場所、自身の戦争体験などを紹介するツアーを造成する。 ①聖地巡礼：アニメに取り上げられた場所を巡る ・アニメ…水木しげるロード、米子鬼太郎空港、境水道、弓ヶ浜、正福寺 ②体験： ・妖怪仮装…妖怪に扮し、水木しげるロードを散策する。またはアニメのキャラクターに扮し、聖地でアニメのワンシーンを再現する。 ・手作り体験…水木しげるロードで、水木作品をモチーフにした作品の手作り体験 ・日本文化…地元の民俗芸能である鬼太郎音頭を踊ったり、境港大漁太鼓を演奏したりするなど、日本の伝統文化に触れる。 ・打ち水体験…夏の風物詩である、打ち水を水木しげるロードで体験する。 ※デジタルパスアプリで販売（キャッシュレス決済で購入可能） ■日本人旅行者向けの水木しげる氏聖地巡礼ツアー 日本人旅行者向けの観光プログラムとして、水木しげる氏の生家や幼少期を過ごした場所を巡るツアーを造成する。 ①地域伝承： ・場所…水木しげる氏生家、正福寺、境台場公園 ・自然…島根半島（のんのんばあ出身地である美保関）、弓浜半島 ②体験： ・弓浜緋…伯州綿が原料にした境港の伝統的な織物で、機織り体験 ・食…水木しげる氏が愛したブドーパンや手造りはっか菓子を味わう。 ・謎解き…謎解きゲームをしながら、聖地を巡る。 ③交通手段：陸（サイクリング）海（ヨット・漁船）を活用した周遊プランの提供 ※ツアー造成あたり、交通・宿泊・飲食等の提供者により企画・商品化を行う。
実施主体	境港市、山陰インバウンド機構、境港観光協会
実施時期	2022（令和4）年度 ～ 2024（令和6）年度
継続見込	2025（令和7）年度以降は、造成されたツアーを継承する関係者等がツアー料金で継続。
アウトプット 目標	・ツアー造成 2種類 ・ガイドブックの作成 2種類
必要資金 調達方法	5.0百万円（内訳：1.7百万円（市費） 3.3百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

(事業番号 1-⑤)

事業名	路地裏を活かした昔体験事業
事業内容	■体験型観光による誘客 水木しげる氏は紙芝居作家としてデビューし、代表作であるゲゲゲの鬼太郎も紙芝居から誕生している。昭和の雰囲気が残る路地裏で、紙芝居を上演し、様々な昔遊びを体験する。水木しげるロード振興会（土曜夜市実行委員会）と連携し、体験の場となる水木しげるロード全体を屋外ミュージアムとして活用する。 路地裏装飾は、ビーコンによる位置情報システムを使用し、水木しげる記念館前庭や水木しげるロード沿線の空きスペースに展開する。 ・昔遊び…輪投げ、折り紙、お手玉など ・鬼太郎の必殺技シリーズ…リモコン下駄飛ばし、下駄積み、指鉄砲（射的）
実施主体	境港市、水木しげるロード振興会、境港観光協会
実施時期	2024（令和6）年度 ～ 2025（令和7）年度
継続見込	路地裏の装飾は2024（令和6）年度の完成を目指し、体験事業は地元団体の自主事業として継続させる。財源は体験料。
アウトプット 目標	・路地裏装飾 1種類 ・体験イベント開催 8回
必要資金 調達方法	5.6 百万円 （内訳：1.9 百万円（市費） 3.7 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

(事業番号 1-⑥)

事業名	水木しげる記念館展示物改修事業
事業内容	■水木しげる記念館の展示物を改修する。 [展示方針] ●水木しげる氏を顕彰する展示 ・水木しげる氏の人生と作品の歩みを紹介する年表を展示 ・水木しげる氏の作品群ごとにエリア分け…妖怪や民俗、戦争体験などの作品群ごとにエリア分けし、原画や解説だけでなく、水木作品に影響を与えたものも展示する。例えば、粘菌学者 南方熊楠の半生を描いた「猫楠」という作品を紹介するだけでなく、水木しげる氏が共感・興味を持った南方熊楠という人物を通じて、水木しげる氏の本質を知ることができるような展示構成とする。 ・水木しげる氏の名言・迷言…水木しげる氏の人格形成に多大な影響を与えた文豪ゲーテ。戦地へも持参したといわれる「ゲーテとの対話」から、水木しげる氏が選んだ名言の数々、『なまけ者になりなさい』など人生経験から生まれた迷言に、それぞれ解説を加えて、水木しげる氏の生き方を学ぶ。 ●水木しげる氏を通じて地域の文化伝承を学ぶ展示 ・水木しげる氏が見聞きした文化伝承…地域の文化伝承を紹介するとともに、正福寺、一畑薬師、隠岐の島などゆかりの地について解説を加えることで、時代背景を学ぶことができる展示とする。 ・のんのんばあから語られた妖怪の解説紹介…スマートフォンアプリを起動して館内を巡ると、水木作品における民俗伝承のストーリーが展開される。妖怪を360度から見ることができ、生態やストーリーについての情報を取得すること

	ができる。 ●直筆壁画の保存・展示 ・水木しげる記念館の壁には、水木しげる氏直筆の壁画が7点描かれている。来館時に、ペンを持つやいなや、一気に描き上げたもので、貴重な文化資源のひとつである。建て替えにあたり、一旦壁画を保存し、新記念館に移設する。 ●裸眼3Dディスプレイ等で水木しげる氏の仕事を紹介 ・現在の展示は、モニターでVTRを視聴するだけのものである。 ・水木しげる氏が収集した書籍や資料、裸眼3Dディスプレイ等を用いて妖怪研究家としての側面を紹介する。
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和5）年度
継続見込	水木しげる記念館の再整備は2023（令和5）年度の完成を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・新水木しげる記念館で展示
必要資金 調達方法	168.5 百万円（内訳：119.0 百万円（市費） 49.5 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））

7-1-2. 情報通信技術を活用した展示、外国語による情報の提供その他の国内外からの観光旅客が文化についての理解を深めることに資する措置に関する事業

（事業番号2-①）

事業名	妖怪文化伝承事業
事業内容	■妖怪文化を後世につなぐ語り部の育成 現在、水木しげるロードにはボランティアガイドしか活動ができていない。 今後、記念館における水木作品と地元の伝承文化をつなぎ、来訪者にその魅力を伝えて周遊を促進するガイドを育成する。 事業番号1-②や事業番号1-④において、ツアーガイドを担い、その収益による継続的な活動を行う。
実施主体	境港市、境港観光協会
実施時期	2021（令和3）年度 ～ 2022（令和4）年度
継続見込	語り部の養成をした後は、ガイド料金収入を財源にして継続。
アウトプット 目標	・妖怪文化伝承講座 3回 ・語り部育成教室 5回、語り部 5人
必要資金 調達方法	1.5 百万円（内訳：0.5 百万円（市費） 1.0 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））

(事業番号 2-②)

事業名	水木しげる記念館多言語表記事業
事業内容	■水木しげる記念館の展示物キャプション等を多言語化 展示物のキャプションを多言語（日・英・簡・繁・韓）で提供する。展示物にピーコンを貼り付けておき、入館者のスマートフォンで解説・紹介や関連情報が再生されるものを導入する。 ※原則として、観光庁「魅力的な多言語解説作成指針」に従う。
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和5）年度
継続見込	多言語表記は2023（令和5）年度の水木しげる記念館の再整備に併せて実施し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・館内多言語表記の整備
必要資金 調達方法	0.6 百万円（内訳：0.2 百万円（市費） 0.4 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

(事業番号 2-③)

事業名	多言語オーディオガイド導入事業
事業内容	■水木しげる記念館音声ガイド 多言語（日・英・簡・繁・韓）音声ガイドを更新する。現在は機器の貸出を行っているが、今後は新型コロナウイルス感染症対策として、スマホアプリを強化する。 入館者がスマートフォンアプリをダウンロードし、展示内容の解説や情報を音声ガイドで利用できるようにする。
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和5）年度
継続見込	多言語オーディオガイドは2023（令和5）年度に導入する。水木しげる記念館の再整備後に更新。その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・多言語オーディオガイド ※5か国語（日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語）
必要資金 調達方法	3.5 百万円（内訳：1.2 百万円（市費） 2.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

(事業番号 2-④)

事業名	水木しげる記念館解説強化事業
事業内容	■水木しげる記念館の解説強化を図る。 水木しげる氏が幼少期から見聞きしたものを、妖怪画にして世に広めた功績は大きい。各地で語り継がれていた妖怪の世界を「ゲゲゲの鬼太郎」という作品を通じて、少年雑誌に掲載したことで妖怪の認知度を高めてきた。水木しげる氏が影響を受けた江戸時代の鳥山石燕による妖怪図鑑「画図百鬼夜行」や日本民俗学の開拓者である柳田国男が、岩手県遠野地方の伝承を記した説話集「遠野物語」などの解説も交えて、水木しげる氏の魅力を伝える。自ら買い求めてきた仮面や置物や、誰も

	が知る国民的キャラクター「ゲゲゲの鬼太郎」を活用した、分かりやすい解説・紹介付き展示とする。 [展示方針] ●冒険家 水木しげる氏 ・ 什器や照明、映像設備などは、可動式のものにし、展示内容に合わせてフレキシブルに対応できるものにする。 ・ 水木しげる氏は、精霊信仰の世界を探訪する冒険家の一面も持っている。かつて戦争中に送り込まれて生き抜いたパプアニューギニア、世界の妖怪を探索する旅で訪れたマレーシアやメキシコといった国々の体験記に、現在の世界地図と併せ、各国の妖怪を紹介する展示を行う。分かりやすい解説・紹介パネルを地域別で作成し、主要な文化資源である仮面や置物とともに、定期的にスタッフで展示替えできるものにする。 ●TVアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」展示 ・ TVアニメをきっかけに水木作品を知ることになった人は多い。世代を超えて愛されている「ゲゲゲの鬼太郎」は、1968（昭和43）年に放送を開始した第1期から2018（平成30）年の最新第6期まで、50年以上にわたり放送されている。全6シリーズをパネルと映像で解説・紹介し、3世代や親子でのコミュニケーションを図ることができる展示とする。 ●VRで妖怪の世界観を疑似体験できるコンテンツ造成 ・ 目玉おやじの目線で、昔の風景を楽しむ ・ 水木しげるロードを、一反もめんに乗って巡る体験
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和5）年度
継続見込	水木しげる記念館の再整備は2023（令和5）年度の完成を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・ 企画展示室に設置し、新水木しげる記念館でも継続利用
必要資金 調達方法	26.6 百万円（内訳：8.9 百万円（市費） 17.7 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））
7-1-3. 国内外からの観光旅客の移動の利便の増進その他の文化資源保存活用施設の利用に係る文化観光に関する利便の増進に関する事業	
（事業番号3-①）	
事業名	ミュージアムネットワーク事業
事業内容	■圏域内の自然・歴史・文化施設が相互に連携して割引等を行う。 （仮称）山陰まんなかぐるネットワークと称し、圏域内の観光施設等の会員証やチケットを提示すると、入館料の割引や記念品進呈などの特典が受けられる連携



	事業を実施し、圏域内の周遊促進を図る。 ガイドブックは毎年更新し、加盟施設の文化資源の解説を掲載して利用者の関心度向上を図る。
実施主体	境港市、中海・宍道湖・大山圏域観光局
実施時期	2021（令和3）年度 ～ 2025（令和7）年度
継続見込	加盟施設が、将来的に利用者のニーズに合った協働・連携事業の企画や出前講座を実施する。
アウトプット 目標	・ガイドブックの作成 1種類（毎年更新） ・加盟施設 50施設
必要資金 調達方法	2.5百万円（内訳：0.9百万円（市費） 1.6百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

（事業番号3—②）

事業名	案内標識多言語表記事業
事業内容	■水木しげる記念館のサイン等を多言語化 水木しげる記念館前においてインバウンド向けに歩行者サインの充実、ピクトグラムの活用や多言語表記（日・英・簡・繁・韓）の改善など、標識等の整備を行う。 ※原則として、観光庁「魅力的な多言語解説作成指針」に従う。
実施主体	境港市
実施時期	2024（令和6）年度
継続見込	多言語表記は2024（令和6）年度5—②デジタルサイネージ整備事業に併せて実施し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・案内標識等の整備
必要資金 調達方法	0.3百万円（内訳：0.1百万円（市費） 0.2百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

（事業番号3—③）

事業名	予約システム構築事業
事業内容	■水木しげる記念館予約システム 時間制予約システムを導入することで混雑を緩和するとともに、チケットレス化、QRコード導入による非接触型入館オペレーションを構築。
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和5）年度
継続見込	予約システム構築は2023（令和5）年度の更新を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・予約システム構築 1種類
必要資金 調達方法	0.3百万円（内訳：0.1百万円（市費） 0.2百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

(事業番号 3-④)

事業名	水木しげる記念館等 Wi-Fi 整備事業
事業内容	■水木しげる記念館および前庭における Wi-Fi 整備 記念館前庭等における A R の体験型コンテンツや多言語オーディオガイドの利便性向上のため、Wi-Fi を整備する。
実施主体	境港市
実施時期	2022（令和 4）年度
継続見込	Wi-Fi は 2022（令和 4）年度の更新を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・Wi-Fi 整備 1 種類
必要資金 調達方法	10.0 百万円（内訳：3.4 百万円（市費） 6.6 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

(事業番号 3-⑤)

事業名	キャッシュレス決済導入事業
事業内容	■水木しげる記念館キャッシュレス決済の導入 水木しげる記念館の入館料やミュージアムショップにおける支払いは、クレジットカードや交通系電子マネーしか導入できていない。QRコード決済の導入に併せて、キャッシュレス決済への対応強化を図り、訪日外国人旅行者等の受け入れ環境整備を行う。 特に、水木しげるロードの飲食店・土産店等の中には、キャッシュレス決済が利用できない店舗もあるため、非接触の支払いで新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐとともに、観光客の利便性向上を図る。ロード全体でキャッシュレス決済に取り組みを進めるため、理解促進のセミナーや、導入する商店向け講座を開催する。
実施主体	境港市
実施時期	2023（令和 5）年度～2024（令和 6 年度）
継続見込	水木しげる記念館のキャッシュレス決済は 2023（令和 5）年度の更新を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。 水木しげるロード沿線の各店舗は自己負担で導入。
アウトプット 目標	・水木しげる記念館キャッシュレスシステム導入 1 種類
必要資金 調達方法	2.3 百万円（内訳：0.8 百万円（市費） 1.5 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

7-1-4. 文化資源に関する工芸品、食品その他の物品の販売又は提供に関する事業

(事業番号 4-①)

事業名	水木しげる記念館限定グッズ開発事業
事業内容	■水木しげる記念館限定グッズの開発、販売 水木しげる氏の曾祖父は、代々廻船問屋として栄え、自ら交易船を所有し繰り綿や木綿などの商いを手広く営んでいたと伝えられている。ゆかりの深い境港市原産

	の伯州綿等を活用した、記念館限定グッズの開発、販売を行う。 グッズ：水木作品をデザインしたブランケット、タオル、マスク、手ぬぐいなど
実施主体	境港市
実施時期	2022（令和４）年度 ～ 2023（令和５）年度
継続見込	限定グッズの開発は2023（令和５）年度の完成を目指し、販売収入で事業継続させる。
アウトプット 目標	・限定グッズ開発 １種類
必要資金 調達方法	2.0 百万円 （内訳：0.7 百万円（市費） 1.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

（事業番号４－②）

事業名	「のんのんばあとオレ」体験事業
事業内容	■ＡＲで妖怪たちが出現するコンテンツの造成 水木しげる記念館の中庭、妖怪お休み処「砂かけ屋」（古民家風）や水木しげるロード周辺に、ビーコンによる位置情報システムを用いて水木作品に登場する妖怪たちが出現するコンテンツを造成することで、拠点からの周遊を促す。古くから言い伝えのある妖怪を、身近な町や水のある場所、家の潜んでいる場所などに、新技術を用いて解説付きで再現する。街歩きをしながらスマートフォン越しで見ると、普段は目に見えない妖怪が、現実世界に出現する。
実施主体	境港市
実施時期	2024（令和６）年度 ～ 2025（令和７）年度
継続見込	位置情報システムは2025（令和７）年度の完成を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・ＡＲによるコンテンツの造成 １種類
必要資金 調達方法	2.0 百万円 （内訳：0.7 百万円（市費） 1.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

7-1-5. 国内外における文化資源保存活用施設の宣伝に関する事業

（事業番号５－①）

事業名	妖怪文化情報発信事業
事業内容	■文化資源を活用した情報発信 ①文化資源の情報発信：水木しげる記念館や境港市観光案内所のホームページで、妖怪文化について情報発信を強化する。 ②SNSイベント：SNSを活用した参加型イベントを開催し、国内外に発信する。水木しげる氏にゆかりの地を巡り、撮影した写真や体験を個人SNSで発信したものを、公式アカウントでフォローし、つなげていく。 ・フォトコンテスト…水木しげる氏にまつわる写真を募集するコンテスト企画 ・仮装コンテスト…水木作品に登場する妖怪の仮装をして撮影した写真を募集するコンテスト企画 ・水木しげる記念館のアカウントをフォローすると、特典を進呈

	③宿泊施設等での情報発信：事業番号１－②や事業番号１－④の宿泊施設に、ポップ等を設置するとともに、宿泊施設のホームページに周辺の観光スポットとしての記事掲載および水木しげる記念館公式ホームページのリンク貼り付けを行う。
実施主体	境港市、水木しげるロード振興会、境港観光協会
実施時期	2022（令和３）年度 ～ 2025（令和７）年度
継続見込	2025（令和７）年度以降も、単独事業として事業継続
アウトプット 目標	・公式ホームページによる情報発信 ２件 ・SNSイベント ５回
必要資金 調達方法	4.2 百万円 （内訳：1.4 百万円（市費） 2.8 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

（事業番号５－②）

事業名	デジタルサイネージ整備事業
事業内容	■水木しげるロードにデジタルサイネージを整備 文化観光拠点施設等のイベント情報、公共交通の乗換案内、防災情報などを多言語で表示する。水木しげる記念館や境港市観光案内所のホームページとも連動させ、水木しげる記念館の空き情報や団体旅行の来訪状況等を提供するなど、利便性の増進を図る。
実施主体	境港市
実施時期	2024（令和６）年
継続見込	デジタルサイネージの整備は2024（令和６）年度の完成を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・デジタルサイネージ １台
必要資金 調達方法	8.0 百万円 （内訳：2.7 百万円（市費） 5.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁）））

（事業番号５－③）

事業名	各種記念式典等開催事業
事業内容	■周年記念式典等の開催 節目となる年に、記念式典を開催することにより、文化観光拠点施設の認知度を高めるとともに、来訪者の満足度を向上し、リピーターの獲得につなげる。 コロナ禍においては、オンライン配信による開催も検討する。 ①水木しげる生誕 100 周年事業 2021（令和３）年度～2023（令和５）年度 生誕 100 周年を記念した４大プロジェクト（「ゲゲゲの鬼太郎」映画化等）と連携したPRも行う。 ②水木しげる記念館開館 20 周年事業 2022（令和４）年度 講演会や収蔵品の公開等を行う。 ③水木しげるロード 30 周年事業 2023（令和５）年度 ④水木しげる記念館オープン記念式典 2023（令和５）年度
実施主体	境港市、水木しげるロード振興会、境港観光協会
実施時期	2021（令和３）年度 ～ 2023（令和５）年度 今後も節目の年には、単独事業とし

	て開催。
継続見込	今後も節目の年には、記念式典等を単独事業として開催。
アウトプット 目標	・ 記念式典 4 回開催
必要資金 調達方法	[単市] 17.0 百万円
7-1-6. 7-1-1～7-1-5 の事業に必要な施設又は設備の整備に関する事業	
(事業番号 6-①)	
事業名	水木しげる記念館再整備事業
事業内容	■水木しげる記念館を再整備する。 老朽化した水木しげる記念館を、現在地に建て替える。 水木しげる記念館は、境港市の文化観光振興に欠かすことのできない極めて重要な施設であり、コロナ禍を機に、感染防止対策を徹底した施設や展示のあり方について再検討し、文化・観光・歴史のまちづくりの拠点として、国内外からの誘客に向けた展示の魅力向上と受入環境整備に取り組み、更なるにぎわい創出を目指す。 本事業は、事業番号 1-①で整備するデータベースを利用するスペースを確保するために必要な整備である。また事業番号 1-⑥及び事業番号 2-④で制作する展示物について、ゾーニング等を見直すとともに展示替え等が容易にできるようにするためにも、水木しげる記念館の再整備が必要となる。 ●施設整備 ・ シンボルミュージアム…水木しげる氏の人生とその作品を展示する唯一の記念館である。 ・ 水木しげる氏が収集した民芸品、水木関連グッズ等のアーカイブとしての収蔵庫を整備…水木しげる氏に関する調査・研究と情報発信の機能を兼ね備えた拠点施設とする。 ・ 多目的ホール・ライブラリーの整備…水木作品（書籍）やデータベース端末などを誰もが自由に利用できるようにして、遊びと学びのいずれも本物志向のテーマパークとして、入館者の満足度を高め、リピーター獲得を目指す。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策（空調、抗菌コーティング）…入館者や従事者にとって、安全安心な施設とする。 ・ バリアフリー対応（スロープ、手すり、エレベーター整備）…だれもが安心して利用できる施設環境を整える。
実施主体	境港市
実施時期	2021（令和 3）年度 ～ 2023（令和 5）年度
継続見込	水木しげる記念館の再整備は 2023（令和 5）年度の完成を目指し、その後のランニングコストは単独事業として継続。
アウトプット 目標	・ 水木しげる記念館の活用方法等を検証、整理 ・ 水木しげる記念館再整備
必要資金 調達方法	610.5 百万円 （内訳：610.5 百万円（市費））

7-2. 特別の措置に関する事項

7-2-1. 必要とする特例措置の内容

事業番号・事業名	
必要とする特例の根拠	文化観光推進法第 条（ 法の特例）
特例措置を受けようとする主体	
特例措置を受けようとする事業内容	
当該事業実施による文化観光推進に対する効果	

7-3. 必要な資金の額及び調達方法

	総事業費	事業番号	所要資金額	内訳	
令和3年度	19.1 百万円	事業番号1－③	0.3 百万円	0.1 百万円（市費）	0.2 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号2－①	1.0 百万円	0.4 百万円（市費）	0.6 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号3－①	0.5 百万円	0.2 百万円（市費）	0.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号5－①	0.3 百万円	0.1 百万円（市費）	0.2 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号5－③	3.0 百万円	3.0 百万円（市費）	
		事業番号6－①	14.0 百万円	14.0 百万円（市費）	
令和4年度	108.2 百万円	事業番号1－②	8.0 百万円	2.7 百万円（市費）	5.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号1－③	0.5 百万円	0.2 百万円（市費）	0.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号1－④	0.5 百万円	0.2 百万円（市費）	0.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号2－①	0.5 百万円	0.2 百万円（市費）	0.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号3－①	0.5 百万円	0.2 百万円（市費）	0.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号3－④	10.0 百万円	3.4 百万円（市費）	6.6 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号4－①	1.0 百万円	0.4 百万円（市費）	0.6 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号5－①	0.3 百万円	0.1 百万円（市費）	0.2 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号5－③	6.0 百万円	6.0 百万円（市費）	
		事業番号6－①	80.9 百万円	80.9 百万円（市費）	
令和5年度	829.0 百万円	事業番号1－①	2.8 百万円	0.9 百万円（市費）	1.9 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号1－②	3.0 百万円	1.4 百万円（市費）	1.6 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号1－④	2.0 百万円	0.7 百万円（市費）	1.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号1－⑥	168.5 百万円	49.5 百万円（市費）	119.0 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号2－②	0.6 百万円	0.2 百万円（市費）	0.4 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号2－③	3.4 百万円	1.1 百万円（市費）	2.3 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））
		事業番号2－④	26.6 百万円	8.9 百万円（市費）	17.7 百万円（文化観光推進事業補助金（文化庁））

		事業番号3－①	0.5 百万円	0.2 百万円 (市費)	0.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号3－③	0.3 百万円	0.1 百万円 (市費)	0.2 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号3－⑤	1.5 百万円	0.5 百万円 (市費)	1.0 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号4－①	1.0 百万円	0.4 百万円 (市費)	0.6 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号5－①	0.3 百万円	0.1 百万円 (市費)	0.2 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号5－③	8.0 百万円	8.0 百万円 (市費)	
		事業番号6－①	610.5 百万円	610.5 百万円 (市費)	
令和6年度	20.2 百万円	事業番号1－②	3.0 百万円	1.4 百万円 (市費)	1.6 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号1－③	0.5 百万円	0.2 百万円 (市費)	0.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号1－④	2.5 百万円	0.9 百万円 (市費)	1.6 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号1－⑤	0.6 百万円	0.2 百万円 (市費)	0.4 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号3－①	0.5 百万円	0.2 百万円 (市費)	0.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号3－②	2.0 百万円	0.7 百万円 (市費)	1.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号3－⑤	0.8 百万円	0.3 百万円 (市費)	0.5 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号4－②	2.0 百万円	0.7 百万円 (市費)	1.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号5－①	0.3 百万円	0.1 百万円 (市費)	0.2 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号5－②	8.0 百万円	2.7 百万円 (市費)	5.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
令和7年度	19.5 百万円	事業番号1－②	10.5 百万円	3.5 百万円 (市費)	7.0 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号1－③	0.5 百万円	0.2 百万円 (市費)	0.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号1－⑤	5.0 百万円	1.7 百万円 (市費)	3.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号3－①	0.5 百万円	0.2 百万円 (市費)	0.3 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
		事業番号5－①	3.0 百万円	1.0 百万円 (市費)	2.0 百万円 (文化観光推進事業補助金 (文化庁))
合計	996.0 百万円				

※国の予算事業等について、記載の通り調達できない場合には、自己資金による対応等について検討する。

8. 計画期間

計画期間：令和3年度～令和7年度（5年間）

■令和3年度

[魅力増進]・もののけ3館周遊パスポート

[利便性向上]・妖怪文化伝承講座

[連携]・ミュージアムネットワークガイドブック作成

[宣伝]・SNSイベント開催、水木しげる生誕100周年事業

[施設整備]・水木しげる記念館再整備（基本構想・基本計画）

■令和4年度

[魅力増進]・データベースの全体構成検討、ナイトタイムイベント造成・ガイドブック作成・特典プラン・市内周遊バス運行、もののけ3館周遊パスポートリニューアル・作品展開催・リーフレット作製、聖地巡礼コンテンツの発掘・ツアー構成の検討

[利便性向上]・語り部育成教室

[連携]・ミュージアムネットワークガイドブック更新、水木しげる記念館Wi-Fi整備

[販売]・新商品の市場調査

[宣伝]・SNSイベント開催・宿泊施設での情報発信、水木しげる記念館開館20周年事業

[施設整備]・水木しげる記念館再整備（実施設計）

■令和5年度

[魅力増進]・ナイトタイムイベント造成・妖怪影絵作成・市内周遊バス運行・直行バス補助、水木しげる氏の戦争体験動画作成、記念館展示物の改修（ARで仕事場再現）

[利便性向上]・記念館展示物の多言語表記、多言語音声ガイドアプリ更新、

[連携]・ミュージアムネットワークガイドブック更新、キャッシュレス決済導入

[販売]・新商品の開発

[宣伝]・はまる一ふりバス車内放送導入・SNSイベント開催、世界妖怪会議、水木しげるロード30周年事業

[施設整備]・水木しげる記念館再整備（新記念館建設）

■令和6年度

[魅力増進]・ナイトタイムツアー造成・直行バス補助、もののけ3館周遊パスポートリニューアル・作品展開催、ツアー企画、FAMトリップ

[連携]・ミュージアムネットワークガイドブック更新

[販売]・位置情報システムの設計

[宣伝]・SNSイベント開催、デジタルサイネージ設置

■令和7年度

[魅力増進]・ナイトタイムツアー造成・妖怪影絵作成、もののけ3館周遊パスポートリニューアル、滞在型イベント造成、昔体験イベント

[連携]・ミュージアムネットワークガイドブック更新

[販売]・位置情報システムの造成

[宣伝]・ホームページでの情報発信・SNSイベント開催